慶尚国立大学への長期留学を終えて

2023 年度長期留学最終報告書 韓国 慶尚国立大学校留学 高知県立大学文化学部文化学科 213022 岡林諒

・留学をしようと思ったきっかけ

私は元々韓国のアイドルが好きでしたが、これまで韓国に長期交換留学してきた先輩方に比べると、中学生のころから韓国語に興味を持っていて~、韓国留学は絶対行きたいと思っていて~というような強い動機はありませんでした。きっかけとして大学2年の11月ごろにちょうどゼミの研究室訪問がありました。特に将来就きたい職業も決まっておらず、少しこれからの人生について考える時間が欲しいなと考えていた時に、今も私が所属している梶原先生ゼミの研究室に訪問した際、当時ちょうど梶原先生のゼミ生で韓国に留学していた先輩がいました。私は留学にはお金もかかるので難しいというように考えていましたが、聞くだけ聞いてみようと思いすぐに先輩の連絡先を聞き、国際交流課に連絡をして、詳細を聞いてみました。すると交換留学の場合は学費がかからないため、エージェントなどに依頼して留学に行くよりはお金がかからないことを知れました。そこから本格的に留学したいと思いはじめ留学の準備をし始めました。

簡潔にまとめると、将来自分のしたいことがまだ決まっておらず、時間が欲しいと思っていた時にちょうど少し興味のあった韓国留学に行く機会があった。というのがきっかけになります。

生活について

寮で生活していましたが、僕は前期、後期と2人一部屋の棟に住んでいました。前期はシャワーとトイレが一緒になっている部屋、後期はシャワートイレ別の部屋を使用しました。キッチンは無く基本的には寮に住んでいる学生が使える食堂を使用しますが、個人的には、あまり味が好みでなかったため外食やコンビニに行くことが多かったです。幸い学校の近くに飲食店がたくさんあったので食事に困ることはほとんどありませんでした。

部屋はルームメイトとの仕切りなどもないので、就寝時間をできるだけ合わせるようにしないといけないところが少し難しかったです。点呼は特になく、寮に午前一時までに帰らないと罰点がつくというシステムでした。洗濯は一回80円くらいで、3日に一回くらいのペースで洗濯していました。物干し台はありますが寮の棟によってはベランダがないところもあるのでルームメイトと洗濯する日を相談するか、乾燥機を使うことが半分半分くらいでした。

・韓国で生活して感じた良い点、悪い点

今まで韓国に交換留学に行かれた先輩方も言っていますが交通費がとても安い点はとても良いと思いました。悪い点として、わたしが居た晋州市は特にバスやタクシーの運転が荒く、バスは二つほどしか停留所を移動していないのに気持ち悪くなったりしました。日本の

ように安全第一ではない点が慣れるのに時間がかかると思います。

もう一つ前期で感じたことで、トイレとシャワーが一緒になっているのは二人で同じ部屋に住むには不便だなと思いました。一人がシャワーを浴びていたらもう一人はトイレを使えませんし、ユニットバスでもないので誰かがシャワーを浴びた後に床が水でびちょびちょでトイレをしないといけないのが不便でした。後期に感じた良い点は冬に床暖房がとても暖かいおかげでエアコンの暖房を長時間つけすぎてのどの調子が悪くなるというようなことがなかった点です。部屋だけでなく床も暖かいのであまり体が冷えることはありませんでした。

・一週間のスケジュール・韓国語の勉強・テスト期間について

前期は一週間に 5 個ほど授業を入れました。韓国に渡る前に TOPIK2 級は取っていましたが、授業の速度や先生の話している内容が 5 割ぐらいしか聞き取れず、授業を一つ減らして前期のスケジュールを組みました。後期は学業よりは韓国での生活を楽しみたいと思い 3 個ほどにしました。しかし 5 個といっても韓国は県立大学と違って、一つの授業が週に二回あったりします。受けたい授業と曜日がかぶってしまいそうですが大体の講義に三人ほど先生が担当しているので、自分が受けたい曜日を三個、多くて四個の中から選ぶことができます。

韓国語の勉強は個人でやることは単語の勉強をして、基本的には韓国人の友人と会話をすることでインプットとアウトプットを繰り返すようにしていました。会話に重きを置いていた理由は教科書や参考書に出てくる韓国語と、現地の人が使う韓国語が違う場合が多かったので、できるだけネイティブの話す言語を学ぼうと思いこのような勉強法にしました。話せば話すほど自分の能力が向上するのを実感できて良かったです。

テスト期間についてですが、自分はもともと TOPIK の 6 級ほどの実力もないので、単位が取れることを目標にテストに臨みました。日本でも大学のテストを頑張っている人はいると思いますが、韓国はレベルが違うなと感じました。その理由としては韓国では日本と違って大学での成績もちゃんと見られるからだそうです。テスト期間になれば学校の図書館は毎日朝から晩まで学生で埋まります。あまり人が多い場所で勉強をしたくない人間なので、自分は友達と学校周辺のカフェで勉強していました。幸い学校周辺にはカフェがたくさんあったので場所には困りませんでした。テスト期間は寮の門限もなくなります。

・学校行事、イベントなどについて

学校行事として学部対抗の体育祭、文化祭などがありました。体育祭においては普段の 授業を休みにしてまで全員で楽しむといった、学生だけでなく学校も一丸となって頑張っ ていました。文化祭は学生がみんなの前で歌を披露したり、学生バンドが曲を披露したりす るだけにとどまらず、大学内でのボディビル大会、更には有名な韓国ドラマの曲を歌ってい るアーティストなど芸能人を呼んでとても盛り上がっていました。無料で参加することが できてほんとにすごいなと思いました。

イベントについては僕が居た晋州市は晋州城という高知県で言えば高知城のような感じ

の場所で大きなお祭りがありました。たくさんの屋台があって夜には花火が上がります。また晋州城は川沿いにあるので川に灯篭が流されます。とても綺麗で感動しました。

個人的に参加したイベントとして釜山で ASIAN ARTIST FESTIVAL というイベントに 参加しました。合計で 10 グループほどの韓国アイドルが参加するライブイベントでした。元々韓国アイドルが好きだったので楽しめました。

釜山は晋州市から高速バスに乗って一時間ほどで行けるので留学中には観光も含め 4 回ほど行きました。さらに片道 1200 円くらいなのでとてもリーズナブルです。ソウルも 4 時間ほどで行けるので交通の便が良いことも晋州市の特徴だと思います。

・最後に

楽しいことだけではない留学生活でしたが、行って後悔していることは一つもありません。

韓国に着いた初日においては、日本でそれなりに韓国語の勉強をしたはずなのに、空港のコンビニにすら自分の韓国語が通用するか怖くていけませんでした。その時は知りませんでしたが韓国はカード決済が主流のため店員さんと喋ることがほとんどないので無駄な心配でした。初めての海外ということもあり、最初は不安しかなかったです。この時から考えるとほんとに成長したなと思います。韓国語の能力はもちろんですが、人間的にも成長できたと思います。

今回の留学で一番良かったことはいろんな人と出会えたことです。慶尚国立大学で出会った日本人の人には最初友達作りを手伝ってもらいそこから知人が増えていきました。男子の日本人は自分だけだったので、ルームメイトが前期はペルーの人、後期はメキシコの人で韓国以外の国籍の人たちとも仲良くなれました。いろんな人と出会うことで自分の価値観や考え方も更新されて、とてもいい経験になりました。留学に行かせてくれた両親や県立大学の方々にとても感謝しています。自分の人生の中で忘れられない経験になると思います。













